

松阪市総合計画（中間案）へのご意見など

資料2

No.	頁	大項目	小項目	意見	回答
1		全般		市民が各基本計画を知り、それを基に市民がどのような事が出来るかが記載されており良いと思います。ですが、前松阪市総合計画の認知度の点から「市民ができること」を実際読み、行動する市民の数は非常に少なくなるのではないかと感じました。非常に難しい課題ではあると思いますが、松阪市総合計画以外にも「市民ができること」を発信することが出来ればより良くなると思います。 また、いくつかの「市民ができること」に関しては、市民が実際に行動するにあたってハードルが高いと感じるものがありますので、少し現実的でないような気がしました。	ご指摘の通り、総合計画の認知度が低いことは課題であると捉えております。SNSやアプリなどを活用し、「市が行うこと」「市民ができること」を今まで以上に発信をしていきます。 「市民ができること」については審議会の中でご審議いただくなかでより良い物にしていければと思います。
2				意識調査アンケートにおける回答で「ふつう」という回答を設けるのを1度廃止してみても良いのではないかと感じました。以前の審議会の際にも意見が挙がっていましたが、「ふつう」を選択すると市民がどのような考えで質問に回答しているかが不明確だと思うからです。	市民意識調査については、継続的な変化を計ることも目的の一つでありますので原則回答方法の変更は行いません。 しかしながら、個々の政策課題についての調査については、調査する内容に応じて回答方法を柔軟に検討していきます。
3				10年後の松阪はどうなっているのか？ 今と変わらないのか全く変わってしまったのか、分かっているのは子供が減って、高齢者が増加しているということその時、市はどのような政策を持っているのか、年齢がきたから仕事はしなくても良いというのはどうだろうか。何歳になっても仕事をしながら年を重ねていくことは自分の励みにも健康の為に良いと思う。しかし、若い時と違って長時間は無理だとおもうから、NPOとか企業率先して休耕田を利用して、無理なく働ける場所を作ることが必要だと思う。 これからの気候変動、世界の移り変わり色々なことを考えれば松阪市での自給自足が必要なのことが来ると思う。その時のために今からの色々なことを考えていくのは必要ではないだろうか。	協議中
4	P35	1 輝く子どもたち	③ 学校教育の充実	「家庭学習におけるICTの活用度4.6%→75%」について 75%という数値目標が高いのではないかと感じました。新型コロナウイルス感染症により学校や塾に向いて学習することが困難となっている現在の状況下で、ICTを用いた学習の促進は重要なことではあると思います。しかし、学校に通う子をもつ75%の家庭でICTを導入するのは家庭環境を加味すると難しいのではないかと感じました。 少しずれてしまいますが、「ICT」自体を市民が理解していないのではないかとこの疑問もあります。また、家庭学習でのICT促進を行う過程で松阪市がどのようなことが出来るのかという点を詳しく知りたいと感じました。	タブレットの整備について 国はGIGAスクール構想として「学校の高速無線LAN」と「一人一台タブレット端末」の整備を打ち出しております。 本市においても、来年（2021年）1月をめぐり小学校1年生から中学校3年生まで、市内全児童生徒に一人一台のタブレットを貸与し、全家庭平等にICT環境をそろえることとなります。 ICTの家庭学習における活用について 今回、子どもたちに貸与するタブレットは、授業だけでなく、家庭に持ち帰り、宿題等でも活用していきます。これまでの宿題は、例えば、計算ドリル、漢字ドリルのような教材やプリントを利用して行ってきました。今回、整備するタブレットには、これらの教材を入れて活用することができます。 また、タブレットを活用することで、例えば、割り算が苦手な児童がドリル学習に何回も繰り返してといたり、例えば、家庭の草花を撮影して、学校で学んだ草花と比較して違いを見つけたり、例えば、ネットにつないでそれぞれが調べたいことを調べる学習をしたり、これまでできなかった宿題、個に応じた宿題も可能となります。 このようなICT環境が整備されることで、家庭学習においてもICT活用は高まると考えており、数値目標を達成することは実現困難ではないと考えています。 今回のGIGAスクール構想に関わり、ICTの整備は進みますが、子どもたちの学びを豊かにする授業や宿題等でのICTの活用のソフト面について市としては継続して研究を行い支援していきます。

No.	頁	大項目	小項目	意見	回答
5	P38	2.いつまでもいきいきと	① 健康づくりの推進	大腸がん検診受診率を目標項目に挙げているのは？ 他の癌検診に比べて受診率が悪いのでしょうか。	10年後を目指す姿を健康寿命85歳以上としております。この健康寿命とは、平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間のことを示しており、健康寿命85歳以上を目指す有効な取組みのひとつに大腸がん検診受診率15%を設定いたしました。 国立がん研究センターでの2020年のがん統計予測において、大腸がんの罹患数が一番多く、死亡予測では2番目に多くなっております。 男女ともに、大腸がんの早期発見・早期治療を推進することが、有効な取組みであると考えます。 国の「健康日本21（第2次）」中間報告においても、引き続き予防を含めた総合的ながん対策を推進し、がん検診の受診率の向上を目標項目としています。松阪市では女性がん検診の受診率向上を目標に重点的に取り組んできましたが、性別に関係なく、罹患の多い大腸がんに対し、次期取り組みを重点的にすすめていくため目標項目としました。
6	P40		② 地域医療の推進	新型コロナ等の感染症専門の病院と検査センターを作れないのか。	協議中
7	P42		② 地域医療の推進	一人一人の市民の医療情報が、医療機関全体の横のつながりとして連携できて個人ナンバーのように一つのデータとして（医療機関同士の情報の共有）総合的に管理できるといいなと思う。 かかりつけ医をもったからといって安心して生活できるとはあまり思いません。通い続けて信じていて、おかしいと思ったところにセカンドオピニオンにかかったところ癌が発覚した身内の話も聞いたことがありますし、かかりつけ医100%の市民を目指すことに疑問を感じます。医療情報の共有システムの開発のほうがより望ましいと考えます。	医療情報の共有システムにつきましては、厚生労働省が、「健康・医療・介護情報利活用検討会」にて、検討を進め、全国共通のシステムとして実現に向け動き出している状況です。 「かかりつけ医」につきましては、一人に限定することなく、体調が悪い時などにまず相談する、自分のことをよく知っていて信頼できる医師をイメージしていただければと思います。 医療計画においても、医療機能の分化・連携の推進として、かかりつけ医の役割を重視し、その普及と啓発を図る必要があるとしています。また、地域包括ケアシステムの推進においても、かかりつけ医を持ち、関係機関が連携していくことが求められており、 指標として国等比較対象できる数値として、めざす姿としております。

No.	頁	大項目	小項目	意見	回答
8	P43	2 いつまでもいきいきと	③ 地域福祉・生活支援の充実	自立支援プログラムによる就労支援での自立件数を維持ではなく、増加を目指していただきたい。8050問題など、社会問題も踏まえると現状維持でいいのでしょうか。生活保護受給者の就労支援をサポートに関わることで、本当の自立に向けて件数の増加をお願いしたい。 そのためには、専門的な分野の関わりが大きくなると思いますが。	自立支援プログラムによる就労支援での自立件数を維持ではなく、増加を目指していただきたい。とのご意見をいただきましたが、自立件数を「維持」とした理由は、保護世帯が減少している中、高齢者世帯が増加しているため、対象被保護者が減少しています。新型コロナウイルスの影響で、今後、保護世帯が増加すると想定はしていますが、一方で新型コロナウイルスの影響により事業者が採用人数を削減したり、受け入れをしない。あるいは、従業員を解雇するという状況がみられます。このことは「自立に向けて」の阻害要因となります。新型コロナウイルスの悪影響が長期化すれば更に雇用状況は厳しくなると思われることもあり、自立件数を「維持」としました。
9	P45		④ 高齢者福祉の推進	看取り率25%を目指しているが、かかりつけ医による訪問診療や訪問介護などのサービスが乏しいと在宅での看取りは困難です。在宅医にて看取りをしていただける医療関係と介護サービスの連携が課題として必要ではないでしょうか。課題の医療や介護サービス等・・・とありますが、生活支援サービスや移動支援は医療の補完はできないとおもいます。介護サービスの補完なら可能だとおもいますが。	・在宅で医療的処置が必要な高齢者の増加が見込まれるなか、国が示す看取り率の指標となる在宅とは、自宅の他、老人ホーム、グループホーム、サービス付き高齢者住宅も含まれ、施設等の看取りが増えています。訪問診療、訪問看護や介護サービスとの連携は大きな課題でありご指摘のとおりですので、課題・主な取り組みに追加をさせていただきます。 課題：【在宅看取りをすすめるためには、在宅医療と介護サービスの連携の充実が必要です。】 主な取り組み：【New! 医療と介護の連携ハンドブックを活用し、本人の望む終末期を支えていきます。】 ・生活支援サービスや移動支援は医療の補完はできないという点についてですが、高齢者が地域で安心して暮らし続けるために、自助互助の考え方のもと、生活支援サービスや移動支援の創設をめざした市民の意識啓発や検討をすすめています。また、地域の限られた医療資源において訪問診療等の人材不足が懸念されており、市内全域への提供が困難な現状があるなかで、通院のための交通手段や移動支援のニーズに対して、多様な団体の協力において解決できるよう協議を図っていきます。課題を一部修正させていただきます。 課題：【医療や介護サービス等公的サービスを補完する生活支援サービスや移動支援が必要です。】（「医療や」を削除）
10	P74		⑤ 障がい福祉の推進	障がい者が介護保険制度を利用するにあたり、障がい福祉サービスからの移行がスムーズに行われるように、相談支援員・介護支援専門員、行政窓口との連携が求められています。を追記していただきたい。または、P46の超高齢社会に向けた視点の部分でも可能なら。	障がい者の幼児期～学齢期～成人期～高齢期にかけて、また、入院から在宅への移行などさまざまなライフステージに応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるよう、相談支援事業者を中心として途切れのない支援を進めていることから、「現状」において「障がい者や障がい児のライフステージに応じた途切れのない支援を進めています。」と記述しています。 意見にある「障がい者が介護保険制度を利用するにあたり、障がい福祉サービスからの移行がスムーズに行われるように、相談支援員・介護支援専門員、行政窓口との連携が求められています」についても、これを含んだ支援を行っているものと認識していますが、委員のご指摘のとおり課題も残るところです。 なお、同年度（令和2年度）中に『松阪市障害福祉計画』を策定することとしており、障害福祉サービスに係る個別具体的な課題等については、ご指摘の課題を含めて当該計画に記述することとしておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

No.	頁	大項目	小項目	意見	回答
11	P.54	3 活力ある産業	⑤ 企業連携・誘致の推進	<p>主な取り組みとして、市内への新規企業進出や設備投資に対するワンストップサービスの具体的な内容があった方良いと思います。 (ワンストップサービスが、どこからどこまでのサービスかわからないため)</p>	<p>ご指摘の通り、より具体的な内容を記述します。※【】内の文章を追記します。 ○市内への新規企業進出や設備投資に対し、【立地場所選定から工場等建設にかかる行政手続き、創業後のフォローまで支援する】ワンストップサービスを進めます。</p>
12	P.74	5 安心安全な生活	① 交通安全対策の充実	<p>10年後に交通事故死者数ゼロにする目標や、交通マナーが悪いと思っている市民意識が高い事を踏まえると、主な取り組みの内容に意気込みが感じられないので、内容的に、もう一步踏み込んだ取り組み内容があってほしい。 (例えば、高齢者の交通事故者が多いことが分かっているため、高齢者向けの交通安全教育を実施するなど。)</p>	<p>ご指摘のとおり、具体的な取組として【高齢ドライバー向けの安全運転講習の実施】を主な取組の記述に追加します。</p>
13	P.79		⑤ 浸水対策の充実	<p>市内の河川に関して、ごみや土砂が積み上がり水深が浅くなってきていると思うので、清浄願いたい。近年異常気象で豪雨が多いため氾濫の危険がある。</p>	<p>協議中</p>
14	P.111	総合戦略	数値目標	<p>国の基本施策を受け止め、4つの分野に取り組みを展開する方向性の示し方は大変良いと思います。 同じページで、数値目標が人口で減っている。目標としてどれだけ頑張っているのがわからないので、人口減少率も数値目標に挙げて、現在よりR5が人口減少率として改善されている事が分かるようにした方が良くと思います。</p>	<p>数値目標については改めて協議いたします。</p>
15	P.112	総合戦略	定住促進	<p>具体的な施策としてテレワークと働き方改革として、サテライトオフィスの活用促進活動の支援の具体的な施策として、総務省の「お試しサテライト事業の推進」に応募することも検討していただければと思います。</p>	<p>移住及び関係人口の増加促進と地域経済の活性化を図るため、新しい生活様式にあわせた働き方としてサテライトオフィス等の活用を促進するうえで、その都度状況に応じた施策等の活用も積極的に検討していきます。</p>